

聖書箇所：Iヨハネ4：7～21

タイトル：「互いに愛し合いなさい」

テーマ：ヨハネの福音書の著者であるヨハネが、その手紙においても繰り返し書きしるしている神の愛の本質と、一方で人間の愛の限界を考察し、私たちがどうすれば神の愛に生きることが出来るのか、神の「互いに愛し合いなさい」という命令に従うことができるのかを考えてみる。

はじめに：

今日は父の日です。母の日に比べて父の日は少々注目度に欠けるようですが、実際には父である、あるいは父予備軍である男性方に神はどのような期待をもっておられるのでしょうか。また、私たちの生活の基本である家族の中で、父も母も子どもどのように愛し合い、その関係を築き上げていくのか、また神の家族と言われる教会の中で私たちはどのような関係を築けばよいのでしょうか。それは外に向かう力となるのでしょうか。

1. 本論

1) 神の愛

- ① 愛の根源であられる神
- ② 神は「愛」そのもの
- ③ 愛のある者とは
- ④ 神の愛は抽象的な概念ではない
- ⑤ 神の払われた犠牲

2) 人の愛

- ① 人の持つ恐れ
- ② 人の愛の限界
- ③ 聖書の登場人物の築いた人間関係

3) 人の愛を神の愛にまで高めるものは？

- ① 神の愛を受け入れる
- ② 聖霊によって

4) 神の命令

- ① 互いに愛し合いなさい
- ② 愛に伴う犠牲

2. 結論と適用